

サステナビリティ

当社グループは、「私たちは絆を大切にニチバングループにかかわるすべての人々の幸せを実現します」という基本理念を掲げています。この理念の根底にあるのは、まずは社員が幸せを感じられる環境をつくり、その幸せをすべてのステークホルダーにつないでいく、という考えです。当社グループのサステナビリティは、創業から脈々と受け継がれてきた理念の実現を基盤としています。

推進体制

ニチバングループは、ステークホルダーの皆様からの期待や社会の要請に応えていくために、サステナビリティ全般にかかわる基本方針、重要事項、リスクや機会などを検討、審議する組織として、CSR担当取締役を委員長とするサステナビリティ委員会を設置しています。サステナビリティ委員会での議論内容は取締役会にて年1回以上上程、報告され、取締役会が監督、指示を行います。また、この委員会で抽出された気候変動による事業継続リスクは、BCP委員会にて具体的な対策を検討します。

サステナビリティ委員会における重要検討事項等

適切な非財務情報開示の管理	二酸化炭素排出削減に関する取り組みの管理	人的資本経営に関する取り組みの管理
---------------	----------------------	-------------------

2024年度 サステナビリティ委員会

開催回	内容	開催回	内容
第1回	2024年度TCFDの提言に基づく気候関連の情報開示内容の確認 中期経営計画におけるGHG排出量削減目標の確認	取締役会での報告	サステナビリティ委員会での決定事項
第2回	2025年度のサステナビリティ開示の方向性について確認 ESG外部評価実績と2025年度の方向性について確認	研修	役員を対象とした「脱炭素研修」実施

マネジメント

2022年度より、サステナビリティやSDGsに関連する「人権方針」「健康経営方針」「購買方針」を新たに策定しました。これには社会に対してだけでなく、ニチバングループの社員の健康と幸せを実現するさまざまな施策も含まれます。

サステナビリティ関連の方針類は、ホームページをご参照ください。 [関連サイトリンク](#)

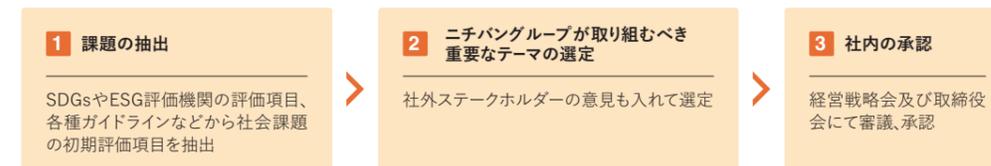
マテリアリティの特定

ニチバングループの事業活動によって影響を与える重要課題を再整理し、ステークホルダーにとっての重要課題と合わせてマッピングを行いました。その結果、「気候変動・地球温暖化対策」「環境・社会課題の解決に貢献する製品開発」「感染予防対策への貢献」「製品の品質向上と安全の確保」を、ステークホルダーとニチバングループともに極めて重要度が高いと位置づけました。



マテリアリティの特定プロセス

サステナビリティの考え方にに基づき、『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』の実現に向けた経営を行う上で、特に重要となるテーマを3つのステップにより特定しました。ニチバングループのバリューチェーンを踏まえ、事業における重要性と社会からの要請や期待を念頭にテーマを選定しています。



目標KPIと実績

マテリアリティ	目標KPIと実績			関連するSDGs	
	具体的なアクション	2024年度の実績	2025年度の目標		
環境	環境・社会課題の解決に貢献する製品開発	環境・社会課題の解決に貢献する製品の開発基準の策定 環境を配慮した開発テーマ・新製品開発の促進 製品の天然素材比率向上によるさらなる環境課題への貢献	環境省「製品・サービスのカーボンフットプリントに係るモデル事業」への参加 第25回グリーン購入大賞において「優秀賞」を受賞 既存製品の無溶剤化を継続 以下製品の開発による環境負荷低減 ・せこたん 湿潤コンクリート用粘着テープ ・バーコードを隠すテープ ・非フッ素系撥水剤	環境対応製品の開発を継続 ・工数削減により環境負荷を低減する製品 ・非フッ素系撥水剤	6 気候変動 7 再生可能エネルギー
	環境負荷の低減	ISO14001 環境マネジメントシステムの継続運用と監査の実施 新技術の創出による溶剤使用量の削減 環境情報の開示	ISO14001の認証継続 統合報告書2024(日本語・英語)発行 TCFD提言に基づく情報を開示	ISO14001の維持と管理レベル・質の向上 統合報告書2025(日本語・英語)発行 エネルギー使用量削減 プラスチック排出量削減	9 気候変動 12 つるまき 持続可能な消費と生産
	化学物質の適正な管理	原材料のグリーン調達への推進	グリーン調達推進・化学物質調査依頼への対応	グリーン調達の推進とお客様からの製品含有化学物質調査依頼への継続対応 製造工程での適切な化学物質管理の実施	13 気候変動 14 海の豊かさを守ろう
	気候変動・地球温暖化対策	ニチバングループのCO ₂ 排出量の削減 グリーン電力比率の向上、太陽光発電設備の設置	TCFD提言に基づく情報を開示 Scope1,2,3開示	非財務情報開示内容の詳細化と拡大	15 気候変動 15 陸の豊かさを守ろう
	資源の枯渇への配慮	原材料の有効活用による廃棄物の削減 水の効率的な使用及び廃水処理の管理 サーマルリサイクルからリサイクルへの転換	ゼロエミッション工場維持 水資源投入量削減 剥離紙の古紙リサイクル 製品端材のリサイクル技術実験継続	ゼロエミッション工場の維持 水資源投入量削減 リサイクル化技術の探索	13 気候変動 14 海の豊かさを守ろう
	生物多様性保全	ニチバン巻心ECOプロジェクトの植林活動・「森のしずく」保全活動	「第15回 ニチバン巻心ECOプロジェクト」実施	ニチバン巻心ECOプロジェクトの継続実施、貢献度向上とNGOとのエンゲージメント向上	15 気候変動 15 陸の豊かさを守ろう

目標KPIと実績

マテリアリティ	目標KPIと実績			関連するSDGs
	具体的なアクション	2024年度の実績	2025年度の目標	
製品の品質向上と安全の確保	ISO9001 品質マネジメントシステムの継続運用と監査の実施 顧客満足の向上 戦略的データ活用と社内業務生産性向上に向けた、新基幹システムの導入開始 全社改善活動の推進	ISO9001の認証継続 営業戦略施策での主要製品の顧客情報フィードバック体制の構築スタート 生産現場における作業記録のデジタル化スタート 全社改善活動の実施	ISO9001,ISO13485の認証継続 営業戦略施策での主要製品の顧客情報フィードバック体制の構築 生産現場におけるデジタル化の推進 全社改善活動の継続 品質文化醸成活動の推進	
労働安全衛生と社員の健康への対応	健康経営の推進とKPIの管理	健康経営優良法人2025認定 健康経営戦略マップ及び指標と実績値を開示 関連サイトリンク	人的資本経営実行とKPI管理 健康経営優良法人2026認定	
ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン (DE&I)の推進と人財育成	女性活躍と障がい者雇用の推進 従業員エンゲージメント向上・組織マネジメント強化の取り組み推進 中期人財育成体系の再整備・テクニカルスキルマップを活用した必要スキルの向上	女性管理職比率 12.5% (連結) エンゲージメントスコア 50.7 (単体) 年次有給休暇取得率 76.3% (連結)	障がい者雇用率の実現と維持および、ともに成長していく職場づくり エンゲージメント向上プロジェクトの継続 社員が環境・社会貢献活動に参加できる仕組みを整備 ブラチナくるみん取得 人的資本経営実行とKPI管理 ・エンゲージメントスコア 50以上 (単体) ・年次有給休暇取得率 70%以上 (連結)	
サプライチェーンマネジメントの強化	原材料原産地とのエンゲージメント強化 (人権・環境問題) 購買方針の徹底	物流・環境問題に対応した積載効率の向上を実現	総合的なESGアンケートの作成に向けた調査開始	
地域・社会への貢献	事業所周辺地域とのコミュニケーション活動 小学校への出前授業による啓発活動 障がい者支援 アスレチックトレーナーの育成 オフィシャルサプライヤーを通じた支援と怪我を防止するテーピング技術の啓発活動	(公財)日本サッカー協会と、サッカーに関わるアスレチックトレーナーを目指す方を対象とした育成プロジェクト「SOCCER MEDICAL CAMP」開催 事業所における清掃活動 小学校出前授業23校 高校でのSDGs啓発授業1校	「SOCCER MEDICAL CAMP」の継続 事業所における清掃活動 小学校出前授業の継続 高校でのSDGs啓発授業の継続 障がい者職場STEPSの運営	
医療への貢献	絆創膏や止血製品、ドレッシング材による感染予防への貢献	インフルエンザ等のワクチン接種による止血製品での貢献 「ケアリーヴ™」を中心に国内における救急絆創膏の普及促進 韓国を中心として救急絆創膏供給促進	感染症予防対策製品としてグローバルも含めた救急絆創膏、止血製品の安定供給と普及	
コーポレートガバナンス	内部統制システムの整備	内部統制委員会 3回開催 内部統制小委員会 4回実施 海外子会社内部監査実施 グループ会社連絡会開催 (国内2回、海外2回)	各部門・グループ会社での自律的な内部統制・リスク管理の強化 グローバル視点を含めたガバナンスの強化	
コンプライアンス	コンプライアンスの浸透 (行動ハンドブック・eラーニングによる教育) 内部通報窓口の充実	行動ハンドブックの作成と周知啓蒙を実施 ハラスメント相談者研修を実施 グローバルホットラインの上海駐在員事務所対応開始	グループ全体でのコンプライアンス強化 グローバル企業化に向けた書類の整備	
リスクマネジメント	緊急時対応訓練の実施 BCP/BCMによる安定供給体制の整備	「全社緊急対策本部訓練」実施 BCP委員会 (年2回) を実施	「全社緊急対策本部訓練」の継続実施 BCP基本方針に基づいた事業継続計画の確立と維持運用	
情報セキュリティ	IT統制システムの整備	IT戦略会議 (年4回) を実施 セキュリティ教育、フィッシングメール訓練実施	ITセキュリティ方針に則った企業活動の実施と更なる管理レベルの向上	
イノベーション創出	研究開発組織の再編 スタートアップ企業の協働プログラム推進 自社技術の棚卸有効活用 グループ社内提案制度の活用	スタートアップ企業とのオープンイノベーションイベントに参加、一部協業テーマ開始 イノベーション研修実施 産官学連携コンソーシアムに参画 協業テーマ開始 「Nbrain」提案数40件 新製品比率 2026年度目標15%に対して実績10.7%	産官学連携と新領域でのさらなるオープンイノベーションの推進 新指標であるプロダクトイノベーション比率のKPI管理 2026年新製品比率15%に向けた新製品の計画的な上市 イノベーション研修継続による社内人財育成	
グローバル市場へのスピーディな展開・拡大	NICHIBAN (東アジア・オセアニア)、NICHIBAN (THAILAND)(東南アジア・中近東地域)、NICHIBAN EUROPE (欧州全域) を含む全世界に対する新規開発活動の推進 重点地域における戦略的パートナー探索・選別 (業務提携・M&A)	海外での止血製品、「ケアリーヴ™」取扱店、取扱製品の増加 欧州でのFSC®認証和紙マスキングテープの販売拡大 (ライセンス番号:FSC®-C183983) 欧州環境包装ラベリングの法規への対応調査	海外での止血製品、「ケアリーヴ™」取扱店、取扱製品の増加 FSC®認証和紙マスキングテープの販売拡大 (ライセンス番号:FSC®-C183983) 欧州環境包装ラベリング法規への社内対応決定	

PICK UP バリューチェーンを通じた取り組み
エコサイクルを実現するセロテープ®

植物由来のセロテープ®。
ニチバンは70年以上も前からお客様の健康と安全な暮らしを想い環境に優しい循環型エコロジー製品をつくり続けてきました。

ニチバンのセロテープ®は、70年以上の歴史を持つ製品であり、その原材料や製法は古くから変わっていません。しかし、社会の要求に応えるため、製品自体は進化を続けています。具体的には、気候変動に対する取り組みとして100%グリーン電力を使用して生産し、人権問題に関して原材料の原産地で人権デューデリジェンスを実施しています。また、他社との共創による環境価値の訴求や、オープンイノベーションを通じて難題に立ち向かうなど、品質を保ちつつ社会的価値を追求することで、ニチバンのセロテープ®は進化を続けています。

原材料・生産

人権デューデリジェンス

2023年11月にスリランカの天然ゴム農園を訪問。児童労働と労働環境を重点的に調査しました。その結果、児童労働は確認されず、労働者居住地周辺に託児所や病院もあり、安心して働やすい環境が整っていることを確認しました。



主な原材料は天然素材

セロハンの原料は管理された森林から採取された木材チップを使用、粘着剤は天然ゴムと樹脂などの天然素材が主成分で、巻心は再生紙を使用。セロテープ®は社団法人日本有機資源協会による「バイオマスマーク」の認定商品です。



100%グリーン電力で生産

ニチングループ及び関連会社でのセロテープ®並びにセロハン基材の粘着テープの生産に使用する電力を100%グリーン電力化することを目的として、日本自然エネルギー株式会社より製造電力分のグリーン電力証書を購入しています。



回収

廃棄物を使った社会貢献

認定NPO法人金沢アートグミにセロテープ®の端材を提供し、子どもアート工房で自由な創作活動に役立ててもらっている取り組みを行っています。



オープンイノベーション

廃棄物の再利用に挑戦中

2023年度よりセロテープ®の製造工程で発生する端材を利用したサーキュラーエコノミーの実現に向けてスタートアップ企業との協働を開始しました。



販売

賛同企業・団体数155社

2025年5月末時点
Small Action For the Future
植物由来のセロテープ®を提供し、健康的で安心な環境を次世代に引き継ぎたいと、プラスチック製のテープから植物由来の製品への切り替えを提案し、SDGs17番目のゴール「パートナーシップ」を通じて新たな環境への取り組みに着手。



回収

巻心回収で得た利益等で国内外で植林を実施

2010年より巻心ECOプロジェクトを開始し、粘着テープの巻心を回収し、古紙再生業者に買い取ってもらった費用とニチバンからの支援金を利用して、特定非営利活動法人イカオ・アコの協力のもと、フィリピンにてマングローブの植林を行っています。(回収する巻心にはセロテープ®以外も含まれます)。2021年度現在、増加したマングローブによるCO2固定量は推定で532~937[t-CO2/年]となっております。また、国内植林活動(森のしずく保全活動)を2025年5月に広島県廿日市市にて実施しました(国内植林活動としては5回目)。

